三笠だより

舞鶴市立三笠小学校
学校だより５月号
平成31年4月26日発行
http://mikasa. maizuru. ed. jp/

安心して自分の力を発揮できる学校に

新学期が始まって三週間が過ぎようとしています。三笠山の緑が色濃くなり、様々な草花が咲き誇る爽やかな季節となりました。子どもたちにも、四季の移り変わりを十分に感じ取ってほしいと思います。

元気に入学した1年生、楽しみにしていた給食も始まりました。「とってもおいしい。」「おかわりしたよ。」という声も聞こえます。「名前は〇〇です。よろしくお願いします。」と、いろいろな教職員にかわいい手作りの名刺を渡す1年生の姿からは、緊張した中にも誇らしげな気持ちが伺えます。５月10日には、1年生歓迎の全校遠足を計画しています。一つ一つ学校での新しい経験を重ね、日ごとにたくましく成長してくれることと思います。

４月21日（日）の授業参観・PTA総会・学級懇談会には、多くの皆様にお越しいただきありがとうございました。進学・進級し、新鮮な気持ちでがんばろうとしている子どもたちの様子を参観いただけたでしょうか。ご家庭でもぜひ、「がんばろうとしていること」「よくなったところ」を見つけていただき、励ましていただければうれしく思います。

PTA総会の中で、「いじめ防止」についてもお話をさせていただきました。子どもたちの心は、時にはたいへん分かりにくくなります。「なんでもない。」「大丈夫。」という言葉とは違う心でいることもあります。いじめの防止及び早期発見・早期対応のためには、周りの大人が「おかしいな。」「なんだかいつもと違うな。」と気付くこと、また、「自分のことをいつも気にかけてくれている。」という思いを、子ども自身が実感として持っていることが重要であると考えます。学校は、子ども一人一人の居場所があり、安心して自分の力を発揮できるところでありたいと思います。三笠小学校で大切にしている、「あたりまえをあたりまえにできること」「うなずきながら目と耳と心で聴くこと」も、みんなで取り組むことで自分も友達も大切にしながら落ち着いた学校生活を送ることができ、いじめの未然防止につながると考えています。

ご家庭、寮、地域におかれましても、気になることや気付かれたことがありましたら、小さなことでも学校にご相談いただき、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう連携して取り組んでまいりたいと思います。

今後とも、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

校長　小島　みどり

教育評論家　前野智可等さんの講演を聞いた。

「親のことですが、お子ぶん（お子さんの）ことです。今の時代、子どもたちは、「知識の杭を打つ」と残念なことがあります。

引き抜かれた川の流れは、中国の故事から。「知識の杭を打つ」ことは、有効な手段であるのかもしれません。

外国人の目から見た日本人の特徴として、「本当に物を大切にする。」「人の話を聞く。」「機械的に好奇心が旺盛。」「教育機会が広く開かれている。」「子どもが遊び、飼育体験を通して生命の尊さを学んでいる。」「家族の絆が強い。」「人間関係を大切にする。」「自然と共生している。」「日本人は、何にでも興味を持つ。」「十人十色。」「思いやりがある